

セグメント情報／損益の状況

Kirayaka Bank

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に行う対象となっているものであります。

当行グループは、主として国内において、当行が行う銀行業務を中心に、連結子会社等においてリース業務、クレジットカード業務、コンサルティング業務及びベンチャーキャピタル業務並びに事務受託業務等を行っております。

当行グループは、銀行業務は「銀行業」を報告セグメントに、リース業務は「リース業」を報告セグメントとしております。また、連結子会社等が行うクレジットカード業務、コンサルティング業務及びベンチャーキャピタル業務並びに事務受託業務等は、その金額の全体に対する重要性を考慮し「その他」に含めております。「銀行業」は主に預金業務、貸出業務、為替業務、有価証券投資業務等を行っており、「リース業」は、主に機械・器具備品等のリース取引を行っております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は経常利益であります。また、セグメント間の内部経常収益は、第三者取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：百万円)

	2021年3月期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)						
	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	21,030	6,177	27,208	673	27,882	△ 114	27,768
セグメント間の内部経常収益	224	58	283	449	733	△ 733	—
計	21,255	6,236	27,491	1,123	28,615	△ 847	27,768
セグメント利益又は損失(△)	△ 4,508	361	△ 4,146	75	△ 4,070	△ 196	△ 4,267
セグメント資産	1,367,418	17,934	1,385,352	38,179	1,423,532	△ 42,968	1,380,564
セグメント負債	1,307,364	10,989	1,318,354	36,714	1,355,069	△ 38,876	1,316,193
その他の項目							
減価償却費	757	8	766	16	783	—	783
資金運用収益	15,369	0	15,370	108	15,478	△ 179	15,299
資金調達費用	182	79	262	7	270	△ 32	238
持分法投資利益	—	—	—	30	30	—	30
持分法適用会社への投資額	—	—	—	145	145	—	145
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	604	12	617	9	626	—	626

- (注) 1. 一般企業の売上高、受取利息、支払利息に代えて、それぞれ経常収益、資金運用収益、資金調達費用を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、コンサルティング業、ベンチャーキャピタル業及び事務受託業等を含んでおります。
3. 調整額は以下のとおりです。

- (1) 外部顧客に対する経常収益の調整額△114百万円は、「銀行業」及び「その他」の貸倒引当金戻入額の調整です。
- (2) セグメント利益又は損失の調整額△196百万円は、セグメント間消去△148百万円及びのれんの償却△48百万円等です。
- (3) セグメント資産の調整額△42,968百万円は、セグメント間消去です。
- (4) セグメント負債の調整額△38,876百万円は、セグメント間消去です。
- (5) 資金運用収益の調整額△179百万円は、セグメント間消去です。
- (6) 資金調達費用の調整額△32百万円は、セグメント間消去です。
4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

(単位：百万円)

	2022年3月期 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)						
	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	16,876	6,616	23,493	576	24,069	△ 45	24,024
セグメント間の内部経常収益	259	55	315	458	773	△ 773	—
計	17,136	6,672	23,808	1,034	24,843	△ 819	24,024
セグメント利益	1,804	307	2,111	72	2,184	△ 184	1,999
セグメント資産	1,371,104	19,420	1,390,524	34,241	1,424,766	△ 39,746	1,385,020
セグメント負債	1,319,932	12,147	1,332,080	32,825	1,364,905	△ 35,654	1,329,251
その他の項目							
減価償却費	667	9	677	18	695	—	695
資金運用収益	13,475	0	13,476	89	13,565	△ 212	13,352
資金調達費用	120	75	195	7	203	△ 29	173
持分法投資利益	—	—	—	21	21	—	21
持分法適用会社への投資額	—	—	—	139	139	—	139
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	296	2	298	11	310	—	310

- (注) 1. 一般企業の売上高、受取利息、支払利息に代えて、それぞれ経常収益、資金運用収益、資金調達費用を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、コンサルティング業、ベンチャーキャピタル業及び事務受託業等を含んでおります。
3. 調整額は以下のとおりです。
- (1) 外部顧客に対する経常収益の調整額△45百万円は、「銀行業」及び「その他」の貸倒引当金戻入額の調整です。
- (2) セグメント利益の調整額△184百万円は、セグメント間消去等です。
- (3) セグメント資産の調整額△39,746百万円は、セグメント間消去です。
- (4) セグメント負債の調整額△35,654百万円は、セグメント間消去です。
- (5) 資金運用収益の調整額△212百万円は、セグメント間消去です。
- (6) 資金調達費用の調整額△29百万円は、セグメント間消去です。
4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

国内・国際業務部門別粗利益

(単位：百万円)

	2021年3月期			2022年3月期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
資金運用収支	15,151	35	15,187	13,346	9	13,355
資金運用収益	15,334	37	15,369	13,466	10	13,475
資金調達費用	182	2	182	120	0	120
役員取引等収支	1,583	0	1,584	2,206	△	2,206
役員取引等収益	3,234	0	3,235	3,426	0	3,426
役員取引等費用	1,650	0	1,651	1,219	0	1,219
その他業務収支	△ 4,668	△ 18	△ 4,687	163	54	217
その他業務収益	3,464	—	3,464	1,287	54	1,342
その他業務費用	8,132	18	8,151	1,124	—	1,124
業務粗利益	12,066	16	12,083	15,716	63	15,780
業務粗利益率	0.93%	0.18%	0.93%	1.19%	1.32%	1.19%

- (注) 1. 国内業務部門は国内店の円建取引、国際業務部門は国内店の外貨建取引でございます。なお、当行は特定取引勘定非設置行であるため、特定取引収支は該当ございません。
2. 資金調達費用は金銭の信託運用見合費用(2021年3月期0百万円、2022年3月期一百万円)を控除して表示しております。
3. 資金運用収益及び資金調達費用の合計欄の上段の計数は、国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の利息でございます。
4. 業務粗利益率=業務粗利益/資金運用勘定平均残高×100

業務純益

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期
業務純益	△ 1,474	2,613
実質業務純益	△ 647	3,642
コア業務純益	6,547	3,658
コア業務純益(投資信託解約損益を除く。)	4,377	3,658

業務純益

1. 業務純益=業務収益-(業務費用-金銭の信託運用見合費用)
 業務収益=資金運用収益+役員取引等収益+その他業務収益
 業務費用=資金調達費用+役員取引等費用+その他業務費用+一般貸倒引当金繰入額+経費(臨時的経費を除く)
2. 実質業務純益=業務純益-(一般貸倒引当金繰入前)
3. コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

資金運用勘定・調達勘定の平均残高、利息、利回り

1.国内業務部門

(単位：百万円、%)

	2021年3月期			2022年3月期		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定	(8,615)	(2)	1.18	(4,724)	(0)	1.01
うち貸出金	1,297,243	15,334	1.19	1,320,472	13,466	1.14
うち商品有価証券	—	—	—	0	—	—
うち有価証券	182,843	2,973	1.62	239,820	1,867	0.77
うちコールローン	—	—	—	—	—	—
うち預け金	75,493	46	0.06	75,087	111	0.14
資金調達勘定	1,295,792	182	0.01	1,308,966	120	0.00
うち預金	1,277,368	183	0.01	1,292,579	120	0.00
うち譲渡性預金	12,817	2	0.02	5,043	0	0.00
うちコールマネー	6,390	△ 4	△ 0.06	2,982	△ 2	△ 0.06
うち売渡手形	—	—	—	—	—	—
うち借入金	1,865	—	—	8,038	—	—

(注) 1. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高(2021年3月期15,084百万円、2022年3月期9,252百万円)を、控除して表示しております。
 2. 資金調達勘定は金銭の信託運用見合額の平均残高(2021年3月期2,962百万円、2022年3月期一百万円)及び利息(2021年3月期0百万円、2022年3月期一百万円)を、控除して表示しております。
 3. ()内は国内業務部門と国際業務部門との資金貸借の平均残高及び利息(内書き)でございます。

2.国際業務部門

(単位：百万円、%)

	2021年3月期			2022年3月期		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定	8,845	37	0.42	4,820	10	0.21
うち貸出金	—	—	—	—	—	—
うち商品有価証券	—	—	—	—	—	—
うち有価証券	8,493	37	0.44	4,592	10	0.22
うちコールローン	—	—	—	—	—	—
うち預け金	—	—	—	—	—	—
資金調達勘定	(8,615)	(2)	0.02	(4,724)	(0)	0.01
うち預金	8,845	2	0.00	4,820	0	0.00
うち譲渡性預金	229	0	0.00	95	0	0.00
うちコールマネー	—	—	—	—	—	—
うち売渡手形	—	—	—	—	—	—
うち借入金	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高(2021年3月期一百万円、2022年3月期一百万円)を、控除して表示しております。
 2. ()内は国内業務部門と国際業務部門との資金貸借の平均残高及び利息(内書き)でございます。
 3. 国際業務部門の国内店外貸借取引の平均残高は、月次カレント方式(前月末T T仲値を当該月のノンエクスチェンジ取引に適用する方式)により算出しております。

受取利息・支払利息の分析

1.国内業務部門

(単位：百万円)

	2021年3月期			2022年3月期		
	残高による増減	利率による増減	純増減	残高による増減	利率による増減	純増減
受取利息	18	627	645	274	△ 2,142	△ 1,868
うち貸出金	48	△ 90	△ 42	△ 326	△ 450	△ 776
うち商品有価証券	△ 0	—	△ 0	—	—	—
うち有価証券	△ 257	986	729	926	△ 2,032	△ 1,106
うちコールローン	—	—	—	—	—	—
うち預け金	19	△ 28	△ 9	△ 0	65	65
支払利息	1	△ 52	△ 50	1	△ 64	△ 62
うち預金	14	△ 58	△ 44	2	△ 65	△ 63
うち譲渡性預金	△ 20	△ 3	△ 24	△ 1	△ 0	△ 2
うちコールマネー	18	△ 0	18	2	0	2

(注) 残高及び利率の増減要因が重なる部分については、利率による増減要因に含める方法で算出しております。

2.国際業務部門

(単位：百万円)

	2021年3月期			2022年3月期		
	残高による増減	利率による増減	純増減	残高による増減	利率による増減	純増減
受取利息	1	1	3	△ 17	△ 9	△ 26
うち貸出金	—	—	—	—	—	—
うち商品有価証券	—	—	—	—	—	—
うち有価証券	0	2	3	△ 17	△ 9	△ 26
うちコールローン	—	—	—	—	—	—
うち預け金	—	—	—	—	—	—
支払利息	0	△ 0	△ 0	△ 1	△ 0	△ 1
うち預金	0	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
うち譲渡性預金	—	—	—	—	—	—
うちコールマネー	—	—	—	—	—	—

(注) 残高及び利率の増減要因が重なる部分については、利率による増減要因に含める方法で算出しております。

役務取引の状況

(単位：百万円)

	2021年3月期			2022年3月期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
役務取引等収益	3,234	0	3,235	3,426	0	3,426
うち預金・貸出業務	1,394	—	1,394	1,569	—	1,569
うち為替業務	905	0	906	867	0	867
うち証券関連業務	142	—	142	183	—	183
うち代理業務	53	—	53	53	—	53
うち保護預り・貸金庫業務	11	—	11	11	—	11
うち保証業務	95	—	95	90	—	90
役務取引等費用	1,650	0	1,651	1,219	0	1,219
うち為替業務	315	0	316	269	0	270

その他業務利益の内訳

(単位：百万円)

	2021年3月期			2022年3月期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
その他業務収益	3,464	—	3,464	1,287	54	1,342
外国為替売買益	—	—	—	—	54	54
商品有価証券売買益	—	—	—	—	—	—
国債等債券売却益	10	—	10	0	—	0
国債等債券償還益	—	—	—	—	—	—
金融派生商品収益	—	—	—	—	—	—
その他	3,453	—	3,453	1,286	—	1,286
その他業務費用	8,132	18	8,151	1,124	—	1,124
外国為替売買損	—	18	18	—	—	—
商品有価証券売買損	—	—	—	—	—	—
国債等債券売却損	80	—	80	0	—	0
国債等債券償還損	7,104	—	7,104	16	—	16
国債等債券償却	19	—	19	—	—	—
金融派生商品費用	—	—	—	—	—	—
その他	927	—	927	1,107	—	1,107
その他業務利益	△ 4,668	△ 18	△ 4,687	163	54	217

営業経費の内訳

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期
給料・手当	4,643	4,396
退職給付費用	300	248
福利厚生費	1,012	948
減価償却費	757	665
土地建物機械賃借料	514	476
営繕費	26	24
消耗品費	103	85
給水光熱費	129	131
旅費	17	20
通信費	212	199
広告宣伝費	77	74
租税公課	971	942
その他	4,181	4,126
合計	12,948	12,340

(注) 1. 損益計算書中「営業経費」の内訳でございます。
2. 退職給付費用には、退職金が含まれております。